様式2

都市再生整備計画　事後評価シート
石岡駅周辺地区

令和８年２月

茨城県石岡市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	石岡市	地区名	石岡駅周辺地区		面積	92.1ha
交付期間	令和3年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	1,219	国費率	0.5	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園（石岡駅東口都市公園）、地域生活基盤施設（BRT専用駅前広場、石岡ステーションパーク、国分町ポケットパーク）、既存建造物活用事業（石岡駅西口交流施設）
	提案事業	地域創造支援事業（いしおか市場、サイクルステーション）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設（ステーションパーク駐車場、駅東駐車場）	事業項目の見直しにより削除	まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし
	提案事業	–	–	–
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設（自転車駐輪場、地域防災施設）	事業項目の見直しにより追加	まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし
	提案事業	事業活用調査（立地適正化計画改訂事業）、まちづくり活動推進事業（グリーンスローモビリティ実証運行）	事業項目の見直しにより追加	まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
当　初	令和3年度～令和7年度		指標1東西自由通路の歩行者通行量の数値目標を修正
変　更	令和3年度～令和6年度		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	東西自由通路の歩行者通行量	人／日	7,003	R1年	7,560	R6年		6,415	△	あり	–	BRT専用駅前広場をはじめ石岡駅周辺の整備を行ったが、人口減少に伴う駅の乗降客数の減少に加え、令和2年のコロナ禍で歩行者数が急減して以降、回復傾向にはあるものの、依然としてコロナ前の水準まで戻っていないため、目標値を達成することができなかった。	–
										なし	–		
指標2	市民満足度調査に係る「駅周辺・市街地の整備」	点	3.01	R1年	3.10	R6年		3.18	○	あり	●	国分町ポケットパークをはじめ石岡駅周辺の施設整備を複数行ったことにより、市民の駅周辺・市街地に対する満足度が向上した。	R8年度
										なし	–		
指標3	石岡駅西口交流施設利用者数	人	14,763	R1年	18,000	R6年		23,747	○	あり	–	学習スペースやシャワー施設、チャレンジショップといった複数の機能を有する石岡駅西口交流施設を整備したことにより、多様なニーズに対応し、幅広い世代が利用できる場を形成することができた。	–
										なし	–		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1												

4）定性的な効果発現状況

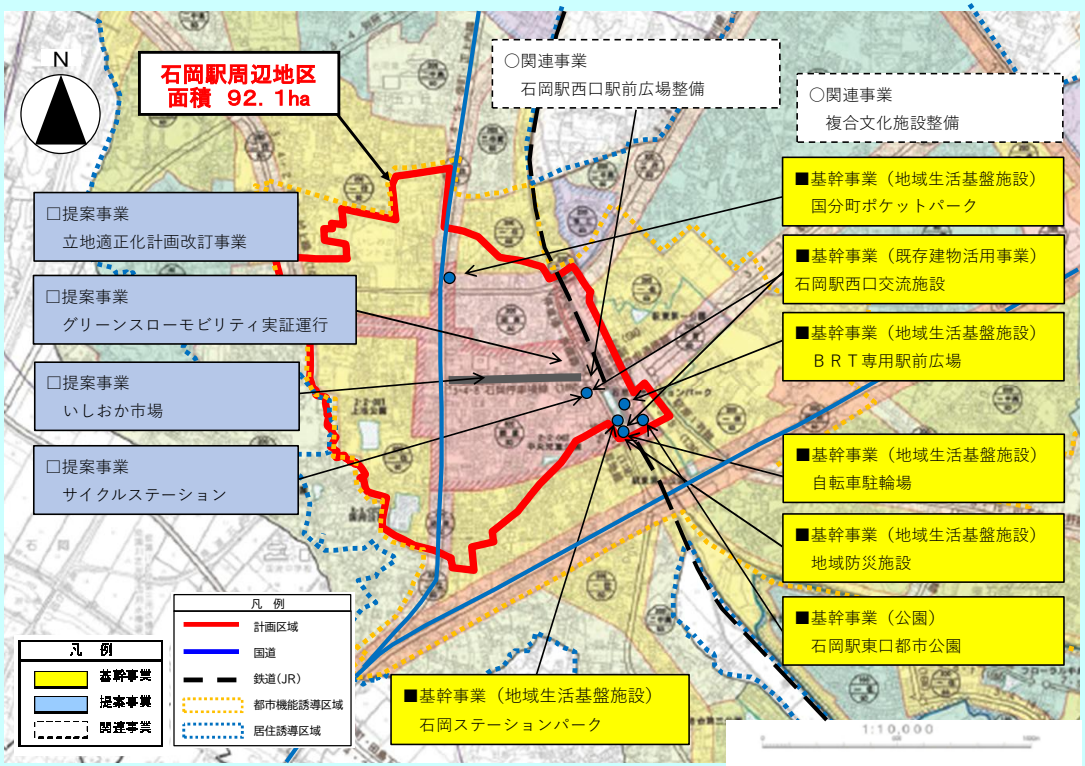
5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	事業実施状況の公開	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も市HP等で情報の公開及び周知を図る。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
官民連携による取組	クリスマスイルミネーション	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も地域団体と連携したイベントの実施を検討する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

石岡駅周辺地区地区（茨城県石岡市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：地域の自然・歴史と調和した都市の再生 目標①：多世代交流による賑わい創出と幅広い世代が暮らしやすいまちづくり 目標②：公共交通の利便性向上による多核連携のまちづくり 目標③：都市基盤の質的な強化と産業振興による魅力あるまちづくり	東西自由通路の歩行者通行量	単位：人/日	7,003	R1年	7,560	R6年	6,415	R7年
	市民満足度調査に係る「駅周辺・市街地の整備」	単位：点	3.01	R1年	3.10	R6年	3.18	R6年
	石岡駅西口交流施設利用者数	単位：人	14,763	R1年	18,000	R6年	23,747	R7年



国分町ポケットパーク

石岡駅東口都市公園

ＢＲＴ専用駅前広場

石岡駅西口交流施設

地域防災施設

グリーンスローモビリティ実証実験

石岡ステーションパーク

自転車駐輪場

いしおか市場

サイクルステーション

まちの課題の変化	・「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくりを推進するため、都市機能の効率的、持続的提供を図り、緩やかな居住誘導を図る必要がある。➡石岡市立地適正化計画について、計画内容の効果検証や防災指針の作成など、計画の改訂を行った。 ・多世代間での交流や自由度の高い利活用を目途とした公共施設を整備し、子育て世代を中心とした幅広い世代に訴求力のある魅力的なまちづくりを推進する必要がある。➡石岡駅西口交流施設や石岡駅東口都市公園を整備したことにより、多様なニーズに対応し、幅広い世代が利用できる場が形成され、駅周辺の賑わいを創出した。 ・地区内の商店街において商業機能の低下が顕著となっており、石岡駅利用者がまちなかを周遊するための取り組みが必要。➡国分町ポケットパークを整備し、まちなかを周遊する際に利用できる休憩所を創出した。 ・移動制約者の増加が懸念されている状況の中、鉄道やバスを代表とした公共交通機関のさらなる利便性の向上が急務となっている。➡もともと路線バスの乗降場が石岡駅西口と東口の両方にあったが、東口にBRT専用駅前広場を整備し、バス乗降場を１箇所に集約したことにより、バス利用者が分かりやすく乗車や乗継が出来るなどのバスの利便性が向上した。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	・石岡駅周辺地区の一体整備を契機としたまちづくり（地域住民が参加するまちづくりの推進（シンポジウムなどの開催検討）） ・公共施設のさらなる利便性の向上を図る（石岡駅東口都市公園の整備） ・文化・芸術活動を通じてまちづくりの参加意欲を高め、新たなにぎわい等を醸成する（複合文化施設の整備）